

まんぼう通信

平成27年6月1日 No.8



みなさんこんにちは！今回のまんぼう通信はピチピチの新人小野寺が担当します。先日、気仙沼市立病院で行われた第33回気仙沼リハ・ケア勉強会に参加してきました。今回のテーマは「病院・施設での取り組み、アピールポイントの紹介」ということで、当施設管理者米田がポスター発表を行い、気仙沼訪問リハビリステーションをアピールしました。



【質問2】

・気仙沼・南三陸地域にリハビリの人だちってどれぐらいいるのすか？

(気仙沼百目木 62歳女性)



【答え】

・約70名弱います。病院・老健・保健所・訪問など様々な分野にいます。

【質問1】

・気仙沼リハ・ケア勉強会ってなんだべ？
(気仙沼要害 92歳元漁師)



【答え】

気仙沼・南三陸地域のリハビリ職種(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)が行っている勉強会です。職種・事業所の垣根を超えて交流し「顔の見える連携の構築」ができています。

【質問4】

・リハ・ケアの「ケア」ってなに？
(本吉津谷 11歳小学生)



【答え】

・ケアには「介護」という意味もありますが「気付き」という意味もあります。介護職との連携とリハ職は「気付き」が大切という意味が含まれています。

【質問3】

・やっぱりリハビリすんなら仙台がいいんだべ？
(唐桑鮎立 81歳元保育士)

【答え】

・そんなことはありません。地域のまともは県内1だと言われています。

興味のある方は【気仙沼リハ・ケア】で検索してください。

気仙沼リハ・ケア



【お知らせ!!】

日中、事業所不在でご迷惑おかけしております。電話転送サービスを利用開始しました。事業所への電話は転送され管理者米田の携帯電話に繋がるようになりました。